

横手の伝説をめぐるドライブコース 平鹿～十文字地区ルート MAP

国記録選択無形民俗文化財 沼入りぼんてん



醍醐地区荒処集落の蔵島神社、弁財天沼に奉納する梵天で、清水祭とも呼ばれています。文政年間以前の起源があり、菅江真澄の『雪の出羽路』にも記録が見られ、県内梵天行事の原形に近いとも言われています。

江戸時代初めから祀っている弁財天に願をかけることから始まったとされ、かつては旧暦3月18日に行われていました。【開催日：毎年5月1日】

※上吉田朴田交差点すぐの十字路を左折



S 横手IC～R107経由

上吉田朴田

弁財天沼
【Pなし】

横手IC～R107経由 車 4.6km 8分

① 弁財天沼 蔵島神社

横手市平鹿町醍醐荒処
(間)平鹿地域課産業建設係
0182-24-1118



ここ弁財天沼は、毎年「荒処の沼入り梵天行事」が行われている。若者たちが白い下帯姿になって沼に入り、中心部に梵天を突き立てる行事。これは、1600年の関ヶ原の合戦の後、佐竹候が秋田に転封後、この地に落ち着いた足軽たちが、新田開発にあたり豊作祈願をしたのが始まりという言い伝えがある。1826年(文政9年)に完成した菅江真澄の『雪の出羽路』に「三月十七日弁天の神事終わって、同十八日は沼祭り也、其沼祭の日に初婚、また新たに家作りし人、また処より此邑にはじめて住つきたる人は、梵天とて大ぬきをもて、さばかり深き処にさしぬ」とあることから、古い歴史をもち、1988年(昭和63年)には秋田県の無形民俗文化財に指定されている。

▼ 車 4.9km 9分 (浅舞公園②より徒歩5分)

② 忠義な猫 忠猫神社

横手市平鹿町浅舞字蔭沼
(浅舞公園そば)
忠義な猫の館
開館時間：午前10時～午後4時



明治の大地主、伊勢多右衛門の飼っていた猫の碑。伊勢家の庭園(現浅舞公園)は、建造当時ネズミやヘビ等により大荒れとなっていた。困り果てていると、その飼った猫はまるで神仏が乗り移ったかのようにネズミ退治に明け暮れるようになったという。それに感動した多右衛門は「亡き後には守護神になってほしい」と言い、この碑を建立したという。

▼ 車 1.4km 3分

③ 手足観音 沖神神社

横手市平鹿町下鍋倉上神
(間)平鹿地域課産業建設係
0182-24-1118



如意輪観音が6本の手をもち、手足を自由に動かしてくれるという信仰から、1681年(天和元年)に田畑の開墾完成記念で如意輪観音を祀り建立された。不自由な手足が早く治るようにとの願いからギブスや松葉杖などがたくさん納められている。

手足観音 車 3.8km 7分

④ 狸々の道標

横手市十文字町字西上24-1
十字館歴史資料展示室
0182-42-1345



昔の十文字は一面の草原で、横手、湯沢、増田、浅舞に通じる道では迷い人がよく現れた。そこで、増田地域の通覚寺の住職・天瑞師が十文字の道案内が記された酒がめを建立したという。それからというもの、迷い人はびたりといなくなり、そこを中心に町が栄えたという。

十文字IC 車 1.3km 3分

道の駅十文字

梨木公園

④ 狸々の道標 十文字歴史資料展示室内
【Pあり-併設：十文字図書館】

至湯沢市

至増田